

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回清須市健康づくり推進協議会
開催日時	令和6年6月12日（水） 午後2時～午後3時
開催場所	清須市役所 南館3階 大会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 委員の紹介 3. 清須市健康づくり推進協議会設置について 4. 会長、副会長の選出 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 健康日本21清須計画（第3次）及び清須市自殺対策計画（第2次）策定について (2) 「健康に関するアンケート調査」の実施について (3) その他
会議資料	会議次第 資料1 清須市健康づくり推進協議会委員名簿 資料2 清須市健康づくり推進協議会設置要綱 資料3 健康日本21清須計画（第3次）及び清須市自殺対策計画（第2次）策定スケジュール（案） 資料4 健康日本21清須計画（第2次）中間評価 概要版 資料5 清須市自殺対策計画 概要版 資料6 清須市「健康に関するアンケート調査」について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
出席委員	加藤委員、近藤委員、塚崎委員、栗木委員、小川委員、向山委員、山口委員、伊藤委員、入山委員、南委員、小出委員、片山委員、佐橋委員
欠席委員	時田委員、清水委員
出席者（助言者）	椛山女学園大学 肥田 佳美准教授
出席者事務局	丹羽健康福祉部長 〔健康推進課〕古川次長兼課長、坂下課長補佐、岡田課長補佐兼感染症予防係長、西村健康づくり係長、青山、仲村 〔高齢福祉課〕加藤介護予防係長 〔こども家庭課〕鳥居母子保健係長 〔保険年金課〕三島健康増進係長
会議録署名委員	伊藤委員、塚崎委員
会議の経過	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ <p>事務局：ただいまから、令和6年度第1回清須市健康づくり推進協議会を開催します。はじめに、開会にあたりまして、健康福祉部長丹羽よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>丹羽部長：それでは皆さん改めましてこんにちは。私は健康福祉部長の丹羽といたします。本日はお忙しい中、また暑い中、この会議にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。また日頃から、保健衛生行政につきまして、ご理解とご協力をいただきまして、この場をお借りしましてお礼を申し上げます。さて、健康日本</p>

21 清須計画（第2次）、そして、清須市自殺対策計画は、毎年この会議で委員の皆様よりご意見を賜り、計画の推進に向けて、市民の皆さんをはじめ、健康づくりの関係機関や関係団体の皆さんの協働で、心も体も健康なまちづくりを推進して取り組んでおります。そうした中で昨年度、市民の方を対象とした市民満足度調査というのを集計いたしました。その項目の中に「健康に注意して生活していますか」という、質問があり、60.5%の方が「健康に留意して生活している」という、結果でした。生活において、食生活、睡眠、運動、この3点セットを各々取り組んでいらっしゃるのかなど痛感いたしました。このアンケートの結果を踏まえて、今年度また新たに健康日本21 清須計画（第3次）、そして、自殺対策計画（第2次）を新たに策定しようと考えております。12年間の計画でございます。長きにわたって計画を策定させていただきますので、委員の皆様、ご協力をお願いいたします。また、日頃の皆様の健康づくりの取り組み、ご苦労されていることや、様々な工夫など、忌憚のない意見を賜りたいと思っておりますので、皆様よろしくをお願いいたします。

加藤会長：加藤でございます。第1回清須市健康づくり推進協議会、よろしく申し上げます。では、議事を進めさせていただきます。なお、ご質問、ご意見につきましては、事務局から一度説明があった後に一括してお聞きしたいと思います。はじめに、協議の（1）についての説明を事務局の方からお願いします。

2. 協議事項

- (1) 健康日本21 清須計画（第3次）及び清須市自殺対策計画（第2次）策定について
- (2) 「健康に関するアンケート調査」の実施について
(事務局より、資料1、2、3、4、5、6を説明)

入山委員：冒頭に話があったかもしれませんが、資料4、資料5の方の内容を見ますと、2023年度までの計画となっておりますが、現在は2024年度です。その説明を詳しくお願いできればと思うのと、清須計画は健康日本21 あいち計画があつてのことだと思いますが、その説明が十分でなかったかと思いますが、いかがでしょうか。

事務局：清須計画につきましては、国の健康日本21と、健康日本21 あいち計画をもって清須計画を作成しております。清須計画（第2次）は、当初2023年度までの計画とさせていただいておりましたが、国は2次計画の期間を医療費適正化計画など他の計画と年度をそろえるために、1年間延伸しているというところで、市の計画は24年までの計画とさせていただいております。今回作成する計画につきましては、25年度からの12年計画となります。

佐橋委員：計画の重点項目の4項目ですが、「睡眠を十分にとろう」とかということ、これから検討されると思います。今、「心房細動」というものが高齢者にすごく多くなっているそうです。

加藤会長：そうです。心房細動、循環器疾患というものです。

佐橋委員：そういう言葉をご存知ない市民の方が多々みえると思います。心房細動というのは何なのか、ということと、もう1点、新聞に劇症型溶連菌が出ていました。市民の方に認知していただき、予防したらいいかなと考えています。

加藤会長：私の意見を申し上げます。まず中間評価を通していているかということが非常に重要だと思います。効果がみられた目標指標を、アンケート調査をもとに私はしっかりまとめていただいたかと思います。私は呼吸器内科医なので、たばこの影響を知ろうということで、COPD の認知率を出していただきました。健康日本21（2次）計画の時に初めて計画の中に呼吸器の項目が入り、10年間で認知率を80%に上げるという目標で他の市町村が苦しんでいる中、清須市のアンケート調査では55%という非常に高い数値だったと思います。市民の皆さん、市をあげて、頑張った努力は一つになったと、私としては評価した次第です。今回の3次計画にあたって、やはり国の方針が中心になって参りますので、それをもとに愛知県から清須市も策定していくと思いますが、疾患としては今までを踏襲して、日本人の健康寿命を害するもので、一つは「がん」に対する対応。もう一つは心臓血管疾患、脳血管疾患に対する対応。また、先程の心房細動、循環器疾患、また糖尿病など生活習慣病は大事になります。COPDも2次計画では認知率の向上が目標でしたが、3次計画では、人口10万人当たり13.3人のCOPDの死亡率を2032年には10人まで減少させることを目標値としており、呼吸器内科は「木洩れ陽 COMORE-By2032」として取り組みます。COPDの死亡率を下げる試みとして、国が目標値を掲げたのは私も今回の3次計画の中で目新しいところと思いました。アンケートは、既存の評価項目になっているものは重点的で、それは下げていますし、追加項目も今回の国の方針に従って作っていただいた感じですが、受動喫煙の問題も、非常によくできたアンケートだと思いますので、最初の時と評価の時に、考えながらやっていけるといいかと思っています。他に委員の皆様方ご質問、ご意見いかがでしょうか。

近藤委員：アンケートの対象の子どもは何歳くらいになる方なのか教えてください。

事務局：保護者の方につきましては、中学3年生のお子さんをお持ちの保護者様を対象にしております。

近藤委員：一般の方は。

事務局：一般の方は、20歳以上の方です。

近藤委員：70歳の方もですか。

事務局：はい。その通り抽出させていただきます。

近藤委員：アンケートを見ていると、一番の問題が新しい言葉で、フレイルとありますが、これは何だろうということです。注釈には、健康な状態と要介護状態の間と書かれています。機能の衰えということですが、一番の問題は心の問題が関係します。こういう注釈の状態になったら外へ出ない。人に会いたくない。それで、孤立をする。外に出て活動をしたり、人との繋がりが大切。こういうのは説明しないのですか。

事務局：言葉の説明につきましてはアンケートにあります説明になります。

近藤委員：孤立してしまったりという心の問題とは書いていないので、これでは足りないかと思っています。例えば、口腔のオーラルフレイルの問題ですが、食べる力がなくなったから食べられなくなったとはありますが、一番の問題は人と関わらなく

なることです。呂律も回らないから、恥ずかしいから孤立をする。そういう心の問題も書いていただきたい。新しい言葉の説明をもう少ししていただきたいと思います。

事務局：アンケートにつきましては、質問の分量が多くなっても負担ということで検討もさせていただいております。委員のご意見もまた参考にさせていただきます。

近藤委員：これは歯科医師会がやらないといけないということでしょうか。

事務局：アンケートの中に言葉のご説明をさせていただいておりますので、周知にも繋がるとも考えておりますが、それ以上の啓発につきましては、保健事業の中でしていきたいと考えております。また先生にもご相談させていただきたいと思えます。

加藤会長：ご意見ありがとうございます。では最後に、保健所の栗木先生、ご意見をお願いいたします。

栗木委員：国が計画を作り、県は今年度末に新しい計画、清須市の計画は5年度に評価をしつつ、新しい項目を入れているということで、その中で新しく始まるのはステージごとについて新しく入ってきたと思いますが、今後の課題という中で、「健康的な生活習慣の確立」があり、ステージごとの項目もあるので、それを発展させていただいたり、新しく盛り込むということでしたら、それも構成としてはいいことだと思います。

加藤会長：では最後に肥田先生にご助言をお願いします。

肥田（助言者）：私は他市町にも行かせていただいておりますが、清須市の計画はすごく系統的に作られていて、中間評価からいろいろと評価をされて、その上で計画を作られています。国の方針も、先ほどご質問があったかと思いますが、4つほど出ていまして、1つ目は、「健康の延伸・健康格差の縮小」ということで、そこは前回とあまり変わらないと思います。2つ目は、「個人の行動と健康状態の改善」ということで、清須市の計画の中にもロコモの予防とかメンタルヘルスというところが含まれています。3つ目として、「社会環境の質の向上」ということで、昔はやはり健康というのは、個人の問題として個人が頑張るという対策が立てられていました。今は「ヘルスプロモーション」という考えで、まち全体で個人の健康支援をしていこう、取り組んでいこうということで、例えば就労支援とかボランティア活動だとか、最近だと居場所づくりだとか、そういったものも含まれます。最後に、先ほど委員もおっしゃられましたが、「ライフコースアプローチ」ということで、その世代のステージごとのアプローチを行っていくことを、国が提示をしています。これらは清須市の計画には、すべて入っていることを確認させていただいております。重点ポイントも中間評価から国の方針にも沿って作られていて、例えば食事の面は、塩分摂取の問題が課題として、控えている方が3割弱、女性の方の脳内出血とか高血圧が高い状況がありますので、やはり食生活というのは今後ますます力を入れていかれるところなのかと思いました。女性の状況は、家族の食事にも影響してくると思うので、そこを重点にしたのは良かったと思います。あとは睡眠・休養は他の自治体でも非常に力を入れているところにはなるかと思いますが、や

はり肥満の方が多いたか、例えばストレスの問題で睡眠と肥満は非常に関係がありますので、ここを重点ポイントとされたのは良かったかなと思います。また、がんの標準化死亡比が100を超えていて、やや県よりも高いこと、検診の受診率に重点が置かれていますが、受診率も問題ですが、受診した方で精検となった方が実際に受診をされたかどうかということを確認されるといいかと思いました。また、アンケートで住民の声を聞く欄がありますし、ホームページの方も見させていただいたところ、前回健康についてのグループワークをされていたので、そこで住民の声が非常にわかりやすかったので、今回もまた量だけ、数字だけではなくて質の部分で、住民の声を拾っていただきたいです。どうしても計画づくりは悪いところに目がいきますが、清須市の強みもあると思いますので、「こんなことやっているよ健康指標」みたいな、そういう住民の方が一生懸命やっている部分とか、非常に良くなってきたんじゃないかという部分も浮き上がるというのかと思っています。

南委員：「性別はどちらですか」というアンケートには最近、男女ともう一つ選択肢があります。このアンケートはこのままでいいのかと疑問に思いました。

加藤会長：ご意見いただいた中で、がんの精密検査になった場合、その結果も統計をとっていただいていたようにお聞きしたことがあるのですが、どうですか。

事務局：精密検査になられた方につきましては、精密検査結果報告書を返信していただくようお願いしています。返信がなかった方には、電話等で追跡をさせていただいています。また、性別ですが、事務局も悩みまして、ご自分の自認される性別で、回答したくない場合は回答しなくていいということで、小さい文字で注釈させていただいています。わかりにくかったと思いますので、表記を工夫させていただきます。

加藤会長：ご意見ありがとうございました。有意義にディスカッションできたと思います。時間もございますので、この辺りで協議を終了させていただきます。

(3) その他

事務局：アンケートにつきましてご意見いただきましてありがとうございました。気になること、思い当たることがございましたら、今週末までに事務局にご連絡いただくようお願いいたします。また、次回の健康づくり推進協議会は、10月16日14時の開催を予定させていただいております。よろしくお願いいたします。以上です。

加藤会長：他はよろしかったでしょうか。

事務局：大変貴重なご意見、ご要望いただきましてありがとうございました。

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためにここに署名します。

令和6年6月12日 署名委員 伊藤 千里

令和6年6月12日 署名委員 塚崎 啓充

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 052-400-2911 内線2014・2050